

# 平成29年第4回(12月)大郷町議会定例会一般質問通告書

## 目 録

1. 高橋 重信 議員
  1. 希望の郷集合住宅について
  2. 高崎団地の今後の取り組みについて
  
2. 大友 三男 議員
  1. 総事業費 11 億 5 千万円以上を投入した高崎団地、及び希望の郷団地建設予定地について
  
3. 千葉 勇治 議員
  1. 大郷町開発センターの有効活用について
  2. 教育長の教育方針について
  3. ファームガーデン事業について
  
4. 和賀 直義 議員
  1. 安心の長寿社会について
  2. 新町営住宅について
  
5. 熱海 文義 議員
  1. 大郷町まち・ひと・しごと創生総合戦略について
  
6. 若生 寛 議員
  1. 基幹産業農業の方向付けを
  2. 大窪城址公園の進入路整備と観光客誘致の実現を
  
7. 佐藤 千加雄 議員
  1. 地域公共交通の取り組み状況について
  2. 空き家対策に関する取り組み状況について

通 告 要 旨	備 考
<p>1. 希望の郷集合住宅について</p> <p>希望の郷集合住宅はどのような取り組みをしているのか所見を伺う。</p>	<p>一問一答方式</p>
<p>2. 高崎団地の今後の取り組みについて、残された問題への取り組みは</p> <p>条件付き寄付行為で始まった町営住宅建設と宅地分譲開発工事に要する予算が11億円に上り、宅地分譲が高額になることが予想される。どのようにして販売をしていくのか。また現時点での高崎町営住宅への入居希望世帯はいくつで、完成時には何世帯の入居になるのか所見を伺う。</p>	

通 告 要 旨	備 考
<p>1. 総事業費 11 億 5 千万円以上を投入した高崎団地、及び希望の郷                  団地建設予定地について伺う。</p> <p>① 前町長は、本町の人口増、定住化計画の一環として、平成 26                  年 7 月 15 日、議員全員協議会に計画提案し、議会で議決され                  現在進行中の国補助金対象外事業で、寄附されたという鶴崎地                  区の土地に、大郷町単独事業の高崎団地内分譲宅地 20 区画造                  成のために、2 億円の町税を使い、平成 30 年度から販売する                  予定になっている。前町長はじめ、田中町長も「周辺自治体の                  分譲宅地価格の状況や、販売方法等を参考にしながら、早期完                  売できるよう努める」と答弁していますが、投資した 2 億円の、                  町民の方々の貴重な税金を回収するためには、単純計算して 1                  区画当たり（平均約 70 坪）の宅地を、最低でも 1 千万円（坪                  単価 142,000 円以上）で販売しなければならないと思う。投資                  した貴重な町税を無駄にしないために、価格を含めどのように                  販売し、早期完売に結びつけるのか伺う。</p> <p>② 田布施住宅、東沢住宅の老朽化に伴い、高崎分譲宅地計画と同                  時期に議会で議決し始まった高崎団地内公営宅地約 6,188 ㎡                  の造成が、平成 30 年 3 月完成予定に伴い、平成 30 年 4 月から                  住宅建設工事が始まり、平成 31 年 4 月から平屋 16 戸の入居開                  始（予定）、さらに、平成 32 年 4 月には、二階建て 16 戸の入                  居開始（予定）で、合わせて計 32 戸の建設計画になっている                  が、小中学校や役場など、更に買い物する店からも距離がある                  ため、入居を希望する方は、あまりいないのではないかと思う。                  更に取り壊しが予定されている、田布施住宅、東沢住宅の入居                  者の中には、高崎団地公営住宅への入居を希望していない方も                  あると聞いている。高崎公営住宅完成後の入居率をどのように                  して上げる考えなのか伺う。</p> <p>③ 前町長は、すでに 7 月 15 日の段階で、高崎公営住宅建設計画                  が有りながら、平成 26 年 8 月 19 日に、議員全員協議会に対し、                  「希望の郷団地」という、町営アパートと駐車台数 52 台の駐                  車場を、平成 30 年までに建設するためという理由で、町中心                  部に位置する、「希望の丘団地」隣にあり、新道山中・希望の                  丘線予定地に隣接している山林 8,000 ㎡を、町が 640 万円を買                  い上げておきながら、その後何の計画も示されず、何のために                  山林を貴重な町税を使って買い上げたのか、いささか疑問であ                  るが、既に高崎公営住宅建設事業は行われており、完成後の入                  居状況が見えない中「希望の郷団地」造成建設の必要性がなく</p>	

<p>なったのではないかと思うが、今後「希望の郷団地」建設予定地をどのようにする計画なのか伺う。</p>	
--	--

通 告 要 旨	備 考
<p><b>1. 大郷町開発センターの有効活用について</b></p> <p>町中央公民館の老朽化や、高齢化に伴い3階までの階段の昇り降りの対応策が求められている。また、蔵書の充実や図書室のスペースの確保等現在の公民館では、それらの解消には限界と考えられる。そこで、それらの課題解決に、開発センターを活用できないか提案するものである。生涯学習が叫ばれて久しいが、より多くの町民が集いやすい中核をなす場所として最適と考えるが所見を伺う。</p>	<p>一問一答方式</p>
<p><b>2. 教育長の教育方針について</b></p> <p>① 10月23日から再び教育長に就任された鹿野教育長の教育指針の一端を伺う。</p> <p>② 先に発生した当時の大郷中学校教師による、金銭流用の不祥事についての反省とその後の再発防止策について、どのような取り組みが行われているのか説明を求める。</p> <p>③ 学校給食のアレルギー対策は喫緊の課題。31年度から3年保育がスタートすることに伴い対象が増えることも予想される。安心して子育てできる環境整備の一環として、アレルギー対応の給食センター設備の整備を求めて、教育長の見解を伺う。</p>	
<p><b>3. ファームガーデン事業について</b></p> <p>9月議会で田中町長は、前町長の赤間正幸氏が事業を中止しなければ、7,500万円の未払い金は発生しなかったと答弁されている。そこで、次の点について伺う。</p> <p>① 前赤間町長が事業を中止した理由が判らないとの答弁だったが、よく調査しその内容を町民に明らかにすべきではと考えるが所見を伺う。</p> <p>② 平成26年11月12日付けの(株)おおさと地域振興公社からの田中学氏等に対する損害賠償申立書に記してある、「平成19年12月26日開催の申立人の取締役会において、平成19年度事業施工者を選定、契約締結し、ファームガーデン事業を進めることを満場一致で決定」した際の取締役会に田中学現町長は参加していたのかどうか伺う。</p>	

③ ファームガーデン事業を通じて、「刑法 60 条、補助金等に係る  
予算の執行の適正化に関する法律 29 条 2 項、1 項に該当」、平  
成 23 年 7 月 20 日、懲役 1 年 2 月、執行猶予 3 年の刑の執行猶  
予を受けたことについて、町民に対し謝罪する考えはないのか  
伺う。

通 告 要 旨	備 考
<p><b>1. 安心の長寿社会について</b>                      人生100年時代の到来、超高齢化社会を見据え、高齢者が住み慣れた地域で、安心して自立した生活を送るためのまちづくりが喫緊の課題だ。以下伺う。</p> <p>① 特別養護老人ホームの待機者対策は                      ア) 実待機者数の把握はどうしているのか。                      イ) 入所に地元優先を</p> <p>② 地域包括ケアの充実について                      地域で暮らし続けることはお年寄りの希望でもあり、地域包括ケアの充実は介護保険の財政的な状況からして避けて通れない。                      ア) 介護予防・日常生活支援総合事業の担い手づくりは。                      イ) 在宅医療と介護の連携を深め、推進するため、町と医師会、県との連携が必要だが。                      ウ) 元気な高齢者が活躍できる介護ボランティア制度の導入を。</p> <p>③ 介護保険の運営状況、第7期介護保険事業計画の保険料の見込みは。</p> <p>④ 健康寿命延伸のための介護予防事業の取り組み状況について。</p>	<p>一問一答方式</p>
<p><b>2. 新町営住宅について</b>                      高崎団地の造成工事がほぼ終了した。期待が大きい家賃アップに対し不安の声もある。新町営住宅について以下伺う。</p> <p>① 建設から入居までの計画は。</p> <p>② 間取り、家賃の設定はいくらになるのか、また現入居者の家賃軽減措置は。</p> <p>③ 現町営住宅入居者以外の枠、入居条件は。</p> <p>④ 住民バスの路線に組み入れるべきと考えるが。</p> <p>⑤ 現東沢住宅を改造し、高齢者向けの低家賃住宅の検討状況は。</p>	

通 告 要 旨	備 考
<p>1. 大郷町まち・ひと・しごと創生総合戦略について</p> <p>① ア) 雇用創出の中で工業用地整備事業があるが川内池上、南清水前地内は、多額の事業費が必要ということで現時点で開発時期が未定である。町長の今後の考えは。また現在企業用地がない状況でこれからどのように企業用地をどの場所に確保していくのか。</p> <p>イ) 子育て世代家賃助成事業で町道山中・希望の丘線の事業を町長は中止するといっているが、希望の郷団地に定住、移住する人にどのような説明とPRしていくのか。</p> <p>② ア) 結婚、出産、子育ての中で婚活イベントの助成金事業が1年経過しても利用実績が少ない。婚活について町長の新策がないのか。</p> <p>イ) 子育て支援の給食費無料と公約で謳っているが、保護者からすれば大変ありがたいことですが、それが当たり前と思うことになり行政のありがたさが薄れるのではないかと。町長の所見は、また財源は。</p> <p>ウ) 郷郷ランド公園があるが、子どもがもっと走ったり、ボールを投げたり蹴ったりできる広々とした公園を造ることはできないのか。町長の所見は。</p>	<p>一問一答方式</p>



通 告 要 旨	備 考
<p><b>1. 基幹産業農業の方向付けを</b></p> <p>平成 30 年度より国の農政が大きく変わろうとしている。農業を基幹産業としている本町としては、計り知れない影響が及ぶものと思われる。そこで次の点について伺う。</p> <p>① 保全管理、水田の活用をどのように導くのか伺う。</p> <p>② 米の直接支払交付金の代替策の検討を</p> <p>③ 担い手である認定農業者の現状（年代別数値）と支援策は</p>	<p>一問一答方式</p>
<p><b>2. 大窪城址公園の進入路整備と観光客誘致の実現を</b></p> <p>今年の花見時期を振り返ると大窪城址公園への進入路整備は喫緊の課題である。ボランティアに頼るにも限界がある。町の考えを伺う。</p>	

通 告 要 旨	備 考
<p><b>1. 地域公共交通の取り組み状況について</b></p> <p>本町は、町民の足の確保として、住民バスを運行し、近隣自治体や公共交通機関や JR との接続を図り、公共交通機関として運行内容の充実、利便性の向上を図っている。今後さらなる改善が必要と考えるが公共交通機関の現状と今後の取り組みについて町長の所見を伺う。</p> <p>① 住民バスの運行状況について</p> <p>② 運行委託の形態について</p> <p>③ 交通弱者対策の取り組みについて</p>	<p>一問一答方式</p>
<p><b>2. 空き家対策に関する取り組み状況について</b></p> <p>少子高齢化に伴い、年々町内には空き家が増える状況にある。減少する人口に対応するため、空き家を活用した定住促進を図るために、本町では空き家バンクを創設、移住・定住に関する相談窓口を開設し、人口減少の抑止に取り組んでいるが、現在の状況と今後の取り組みについて、町長の所見を伺う。</p> <p>① 空き家バンクの現状について</p> <p>② 空き家バンク制度の周知、情報提供について</p> <p>③ 特定空き家対策について</p>	